

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立逢坂小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

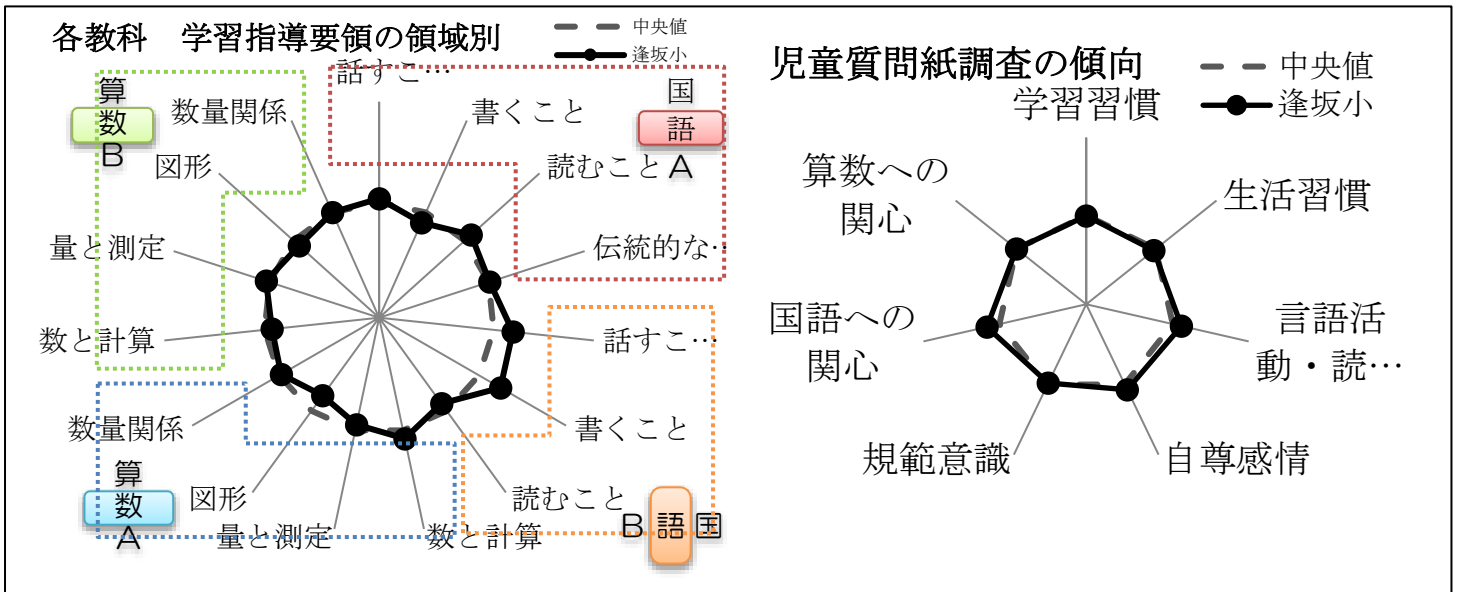
国語、算数ともに良好な結果となりました。特に国語の「話す・聞く」「言語についての知識・理解・技能」の力が向上しています。算数では、図形に関する問題の記述に課題が見られました。
 本校の全体的な傾向として、全国より高い正答率を示しています。加えて、全国の結果で苦手とする領域の問題は、本校でも正答率が低く、同じように苦手としていると言えます。

《強み・弱み》

今年は、国語・算数ともに良好な結果でした。特に国語の「言語についての知識・理解・技能」が一番の強みとなっています。これは、漢字学習での文作りや、簡単な作文、自分の考えを自分の言葉でまとめるといった取組の成果が現れていると考えています。算数も良好な結果でした。算数の基礎・基本の定着は概ね良好であると考えられます。特に算数の「数量や図形についての技能」に強みがあります。しかし、図形に関する領域でやや課題が見られました。
 児童質問紙調査では基本的な生活習慣が整っている結果がみられました。また、規範意識の定着も見られます。国語・算数への関心が高く強みとなっています。課題となっていた自尊感情では、「自分には良いところがある。」という質問項目でポイントの上昇が見られ、自尊感情がやや高まったと感じられる結果となっています。

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

◇強み・弱みレーダーチャート◇



※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しました。
 破線はポイント差の中央値を表しています。破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

【指導の充実に向けて】

- ☆どの教科においても、低学年から高学年への系統性を大切にします。
- ☆「ペア学び」や「みんな学び」などの「学び合い」を取り入れた授業を行い、ともに学び合う中で、自ら考える力、自らの考えを深める力を育てていきます。
- ☆字数制限やキーワードの指定などの条件のもと、文を書く活動を行い、条件や場に応じた文を書く力を伸ばしていきます。
- ☆図やグラフ、式などを使って、自分の考えをわかりやすく伝える（話す・書く）力を育てます。
- ☆基礎・基本の定着を図るため、これまでの取組を継続、発展させていきます。
 - 算数の授業の最初に行う復習タイム
 - 漢字学習の工夫（既習漢字の積極的な使用、主語を意識した文作りなど）
 - エネルギータイム（短時間学習）で新聞記事などを使いながら文を書く活動